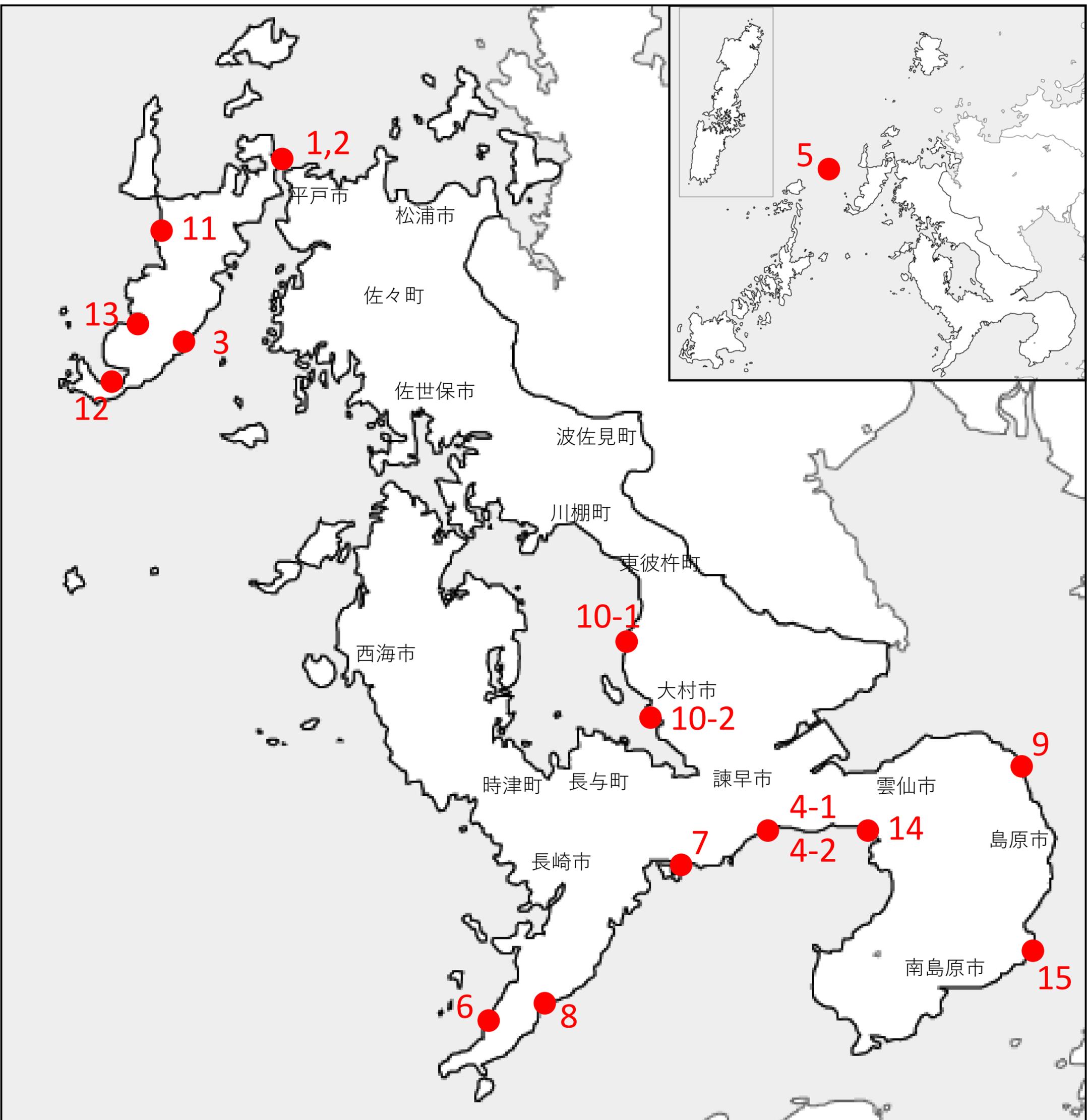


農山漁村地域整備計画の対象事業

事業名	事業型		事業実施主体	関係市町村	計画期間内の 事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の 総事業費 (千円)	費用対効果	備考
	事業型	事業箇所名 (地区名)							
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	田助	長崎県	平戸市	浮棧橋 1式	R4～R6	(448,582) 448,582	総事業費が10億円以下のため未記入	1
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	田助	長崎県	平戸市	浮棧橋 1式	R7	(300,000) 300,000	総事業費が10億円以下のため未記入	2
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	前津吉	長崎県	平戸市	護岸(改良) 82m 浮棧橋 1基 用地(改良) 1200m ² 用地(蓄養水面) 1式	R5～R8	(490,000) 490,000	総事業費が10億円以下のため未記入	3
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	有喜	長崎県	諫早市	防波堤(改良) 38m 護岸(改良) 182m -3m岸壁(改良) 76m 物揚場(改良) 52m 浮棧橋 1基	R6～R8	(480,000) 480,000	総事業費が10億円以下のため未記入	4-1
効果促進	—	有喜	長崎県	諫早市	トイレ(改良) 1基	R6～R7	(60,740) 60,740	効果促進事業のため未記入	4-2
海岸保全施設整備__漁港	津波・高潮危機管理対策	長崎県沿岸	長崎県	長崎県全域	海岸保全基本計画一式	(-) R7	(-) 40,000	調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	5
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	野野串	長崎市	長崎市	沖防波堤(改良) 60m 北防波堤(改良) 52m J護岸(改良) 34m 集落道 40m 種苗放流・効果調 1式	R4～R7	(582,344) 582,344	総事業費が10億円以下のため未記入	6
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	戸石	長崎市	長崎市	護岸(改良) 260m	R4～R8	(310,002) 310,002	総事業費が10億円以下のため未記入	7
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	為石	長崎市	長崎市	離岸堤 150m	R4～R8	(1,139,744) 1,139,744	23.2	8
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	大三東	島原市	島原市	浮棧橋 1基 物揚場(改良) 50m	R6～R8	(132,480) 309,000	総事業費が10億円以下のため未記入	9
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	大村	大村市	大村市	(松原) 沖防波堤 50m 突堤(改良) 30m 護岸(改良) 24m (東浦) 防波堤(改良) 77m	R6～R8	(700,000) 700,000	総事業費が10億円以下のため未記入	10-1 (松原) 10-2 (東浦)
水産物供給基盤整備事業	漁港関連道整備事業	新獅子	平戸市	平戸市	道路(改良) 634m	R4～R7	(128,924) 128,924	総事業費が10億円以下のため未記入	11
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	志々伎	平戸市	平戸市	(福良) -2.5m物揚場(改良) 20m (船越) 向月D物揚場 35m 取付護岸 5m 用地 1,430m ² 向月A泊地 200m ² 向月A護岸 42m (志々伎浦) 浮棧橋 1基	R4	(25,500) 25,500	総事業費が10億円以下のため未記入	12
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	古田	平戸市	平戸市	突堤(新設) 45m 突堤(延伸) 30m 西防波堤(改良) 70m K護岸(改良) 20m	(R4～R8) R4～R8	(487,300) 487,300	総事業費が10億円以下のため未記入	13
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	千千石	雲仙市	雲仙市	離岸堤 1,200m	R4～R8	(956,400) 956,400	41.4	14
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	貝崎	南島原市	南島原市	沖防波堤20m 貝崎日物揚場(改良) 53m 護岸(改良) 18m 用地(改良) 9m 突堤40m 貝崎漁港物揚場(改良) 180m	R4～R8	(557,900) 557,900	総事業費が10億円以下のため未記入	15
合計 (全体事業費)							(6,799,916) 7,016,436		

長崎県漁港漁村地域(本土)整備計画 位置図



◆評価

項目	評価項目		評価	説明
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 田助

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 田助

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 前津吉

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 有喜

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 効果促進事業

◆評価

事業箇所名： 有喜

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と効果促進目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の効果促進の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：津波・高潮危機管理対策

◆評価

事業箇所名：長崎県沿岸

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025に基づいた事業となっている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	-	-	-
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	-	-	-
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	-	-	-
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 野々串

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：高潮対策

◆評価

事業箇所名：戸石

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：高潮対策

◆評価

事業箇所名：為石

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 大三東

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 大村

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁港関連道整備事業

◆評価

事業箇所名： 新獅子

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 志々伎

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 古田

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：高潮対策

◆評価

事業箇所名：千千石

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 貝崎

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。